

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成三十年六月度 入選句（投稿総数二千四百九十九句・小中学投句数千八百七十七句）

特選

母の日にわたしのえがおプレゼント 大垣市 柿迫 明沙(小三)

五月の第二日曜日、今では、「お母さんに感謝して何かプレゼントしよう」という気持ちで、お花やお菓子、又は、手紙や絵をプレゼントする子は多いのではないだろうか。そんな中で作者は「おかあさん、いつもありがとう」とにこしながら言ったのでしよう。感謝の気持ちを伝える方法はいろいろありますが、この「わたしのえがお」と言い切ったまっすぐな心がうれしいですね。お母さんへの感謝の気持ちをストレートに俳句にし、読む人の心も温まる俳句です。

プール行こやくそくをする帰り道 大垣市 牛田 帆香(小三)

作者は学校帰りでしょうか、それとも何かの帰り道だったのでしょうか。きつと暑い日だったのでしょうか。「プールに行きたいな」どちらからともなく言い出し「プールに行く約束」ができたのですね。いろいろな都合もありいろいろな約束事したことでしょうが、それらの約束事をさりと切つて「プール行」と言い切っているところがいいです。この俳句から友だちとのよい関係もよく伝わってくる温かい俳句です。

ひく人の声高らかに初夏のやま 大垣市 平田 ひなの(中二)

これはきつと、大垣祭りの曳山の事でしょう。今年は前日の土曜日は良い天気でしたが、日曜日は雨降りで祭やまは曳くのも大変だったでしょう。そんな中で「ひく人の声高らかに」がいいですね。お祭りの雰囲気盛り上げています。下五の「初夏のやま」もお祭りの勢いに繋がる言葉です。

秀逸

にじが出たなないろきれいかみにかく 大垣市 高はし かいと(小二)

夏祭りいる人みんな笑顔咲く 美濃加茂市 伊藤 雅貢(中二)

ころもがえこのワンピースおきにいり 美濃加茂市 傍島 香穂(中二)

彦根城 天守に通る若葉風 大垣市 多賀 千夏(小五)

山のぼり夏の空がむかえてる 大垣市 田中 飛向(小五)

雨音のリズムではねるかえるだよ 大垣市 山田 一颯(小四)

麦の秋風がふいたら金のなみ 大垣市 渡邊 志織(小四)

五月の夜空にのぼったおばあちゃん 大垣市 高橋 功多(小三)

汗かいた分だけはじける笑顔かな 大垣市 牛田 温人(小六)

なつまつりがっこうのことわすれちゃえ 大垣市 川瀬 大和(小四)

入選

たんぽぽがわたげになってうれしそう	大垣市	日びの	ゆうま(小二)
はるがきたみんななかよくあそぼうよ	大垣市	ほりた	まなみ(小二)
ゆれているどうろのうえにかげろうが	美濃加茂市	佐藤	月(中二)
夜の森ほたるの光星のよう	美濃加茂市	若林	堯利(中二)
水田でカエルが合唱コンクール	美濃加茂市	藤掛	花菜(中二)
せせらぎの音に混じってホタルとぶ	美濃加茂市	駒田	臥龍(中二)
雲海が僕の流れについてくる	美濃加茂市	岸	大翔(中二)
せんせいにたんぽぽつんでぶれぜんと	大垣市	藤井	心那(小二)
わかば風うずをまいてる鳥のよう	大垣市	今村	心優(小五)
びわ湖見る天守閣から夏の風	大垣市	那須	太陽(小五)

入選

あおば風つかれたからだにすきとおる	大垣市	市橋	明空(小五)
山登り木々も緑も応援団	大垣市	甲林	美来(小五)
あじさいが雨にうたれて歌ってる	大垣市	谷崎	拓斗(小四)
葉ざくらが葉っぱをゆらしてダンスする	大垣市	松原	大悟(小四)
そらまめのフワフワベッドさやの中	大垣市	渡邊	志織(小四)
なつのなみ思い出のせてすなさらう	大垣市	小田切	亜実(小四)
ころもがえ昔のふくを思い出す	大垣市	高木	観月(小四)
雨の日にひよいとでてきたカタツムリ	大垣市	佐藤	蓮(小四)
水草はこいといっしょにおどってる	大垣市	隠	香音(小六)
水草や川の流れてフラダンス	大垣市	田中	凜(小六)

選者吟

青葉かげちらちら飛んで芭蕉句碑

祐

子